Ⅶ 目標を達成するために行う事業・実施主体

1. 目標を達成するために行う事業・実施主体・スケジュール

本計画における将来像及び基本方針の実現に向けて掲げた目標を達成するために実施する各種事業を、以下の4つの施策でまとめます。

- 〈施策1〉公共交通ネットワークの構築
- 〈施策2〉交通結節機能の強化
- 〈施策3〉公共交通の利用促進
- 〈施策4〉持続可能な交通サービスの提供

まず、4つの施策について、それぞれ基本的な考え方、実施する事業を次頁より整理します。

(1) 〈施策1〉公共交通ネットワークの構築

①基本的な考え方

公共交通ネットワークの構築にあたり、公共交通を分類し、その分類ごとに交通サービス確保の考え方を整理します。その考え方に基づき公共交通ネットワークを構築します。

1) 公共交通の役割に応じた分類

小牧市内及びその周辺を運行する公共交通を、路線の役割に応じ、「南北鉄道軸」、「東西公共交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(バス)」、「生活交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(鉄道)」、「都市間連絡軸(高速バス)」、「隣接市町コミュニティバス」、「タクシー」の8種類に分類します。

表 1-1 公共交通の役割

| 路線 | 役割 |
|--------------|--|
| 南北鉄道軸 | 公共交通の軸として重要な鉄道軸であり、小牧駅周辺の中心拠点と味岡駅周辺の地域拠点等の拠点間連携や、名古屋市・犬山市方向への都市間移動ニーズへの対応を図る。 |
| 東西公共交通軸(バス) | 東西市街地の連携強化に資するバス軸であり、小牧駅周辺の中心拠点と 桃花台センター地区及び藤島地区の地域拠点等の拠点間連携や、春日井 市・岩倉市方向の都市間移動ニーズへの対応を図る。 |
| 都市間連絡軸(バス) | 南北鉄道軸、東西公共交通軸(バス)、都市間連絡軸(鉄道)と一体となって、小牧市内の拠点から結びつきの強い都市を結ぶ広域移動ニーズへの対応を図る。 |
| 生活交通軸(バス) | 地域の特性に応じて各居住地と <mark>小牧</mark> 市内の拠点を結び、 <mark>小牧</mark> 市内の拠点へのアクセス利便性向上と中心拠点内のモビリティの向上を図る。 |
| 都市間連絡軸(鉄道) | 東西公共交通軸(バス)や都市間連絡軸(バス)と接続し、広域移動ニーズへの対応を図る。 |
| 都市間連絡軸(高速バス) | 南北鉄道軸、東西公共交通軸(バス)と一体となって、 <mark>小牧</mark> 市内の拠点から結びつきの強い都市を結び、広域移動ニーズへの対応を図る。 |
| 隣接市町コミュニティバス | 小牧市内を運行する公共交通と連携し、本市と隣接市町間の移動ニーズ への対応を図る。 |
| タクシー | 個別の移動ニーズへの柔軟な対応を図るとともに、鉄道やバス路線が運 行していない地域や時間帯における移動ニーズへの対応を図る。 |

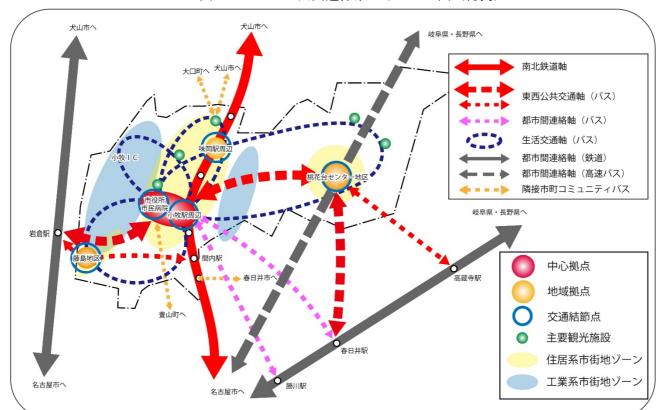


図 Ⅲ-1-1 公共交通体系のイメージ図 (再掲)

※タクシーについては、市内全域において交通サービスを提供

2) 交通サービス確保の考え方

小牧市内を運行する公共交通について、路線の役割に応じた交通サービス確保の考え方を整理するとともに、該当路線を示します。

表 1-2 交通サービス確保の考え方

| 路線 | 該当路線 | 交通サービス確保の考え方 |
|---------|-----------------------------|--------------------------|
| 南北鉄道軸 | 名鉄小牧線 | ・本市の南北軸を形成するため、都市間を連絡する交 |
| 円が及り | | 通需要に応じた、サービス水準を確保する。 |
| | 名鉄バス路線バス | ・本市の東西軸を形成するとともに、沿線地域のニー |
| | 間内・岩倉線(※1) | ズを基本としつつ、潜在需要の喚起も見据えたサー |
| | 岩倉線(※1) | ビス水準を確保する。 |
| | 桃花台線(※2) | ・特に、中心拠点と地域拠点を結ぶ区間については、 |
| 東西公共交通軸 | 春日井・桃花台線(※ <mark>2</mark>) | 日 30 本以上(平日)の運行頻度を確保する。 |
| (バス) | 桃山線(※2) | ・通勤通学及び帰宅時間帯における乗客集中に対応で |
| | あおい交通路線バス | きるサービス水準を確保するとともに、通勤通学で |
| | ピーチバス | の利用を考慮した運行時間帯を設定する。 |
| | 桃花台バス(<mark>※ 2</mark>) | ・交通結節点を中心に、他の路線との乗り継ぎ利便性 |
| | | の確保に留意したダイヤ設定とする。 |
| | 名鉄バス路線バス | ・沿線地域の広域移動ニーズに応じたサービス水準を |
| | 小牧・勝川線(※3) | 確保する。 |
| 初士即诸级林 | 春日井市内線(※3) | ・通勤通学及び帰宅時間帯における乗客集中に対応で |
| 都市間連絡軸 | | きるサービス水準を確保するとともに、通勤通学で |
| (//^/ | | の利用を考慮した運行時間帯を設定する。 |
| | | ・交通結節点を中心に、他の路線との乗り継ぎ利便性 |
| | | の確保に留意したダイヤ設定とする。 |

※「東西公共交通軸 (バス)」、「都市間連絡軸 (バス)」については、交通サービス確保の考え方に 基づき、下記路線については、複数路線を一体的な路線として扱う。

| 東西公共交通軸 (バス) | 中心拠点(小牧駅・小牧市役所・小牧市民病院周辺)または地域拠点(藤島地区)と岩倉駅を結ぶ路線(※1) 地域拠点(桃花台センター地区)と春日井駅または高蔵寺駅を結ぶ路線(※2) | 名鉄バス路線バス 間内・岩倉線 岩倉線 名鉄バス路線バス 桃花台線 春日井・桃花台線 桃山線 あおい交通路線バス 桃花台バス |
|--------------|--|--|
| 都市間連絡軸 (バス) | 中心拠点(小牧駅・小牧市役所・小牧市民病院周辺) と春日井駅または勝川駅を結ぶ路線(※3) | 名鉄バス路線バス 小牧・勝川線 春日井市内線 |

| 路線 | 該当路線 | 交通サービス確保の考え方 |
|-------------------|----------------------|--|
| | こまき巡回バス | ・南北鉄道軸や東西公共交通軸(バス)、都市間連絡 |
| | 全路線 | 軸(バス・高速バス)との乗り継ぎ利便性の確保に |
| | | 留意したダイヤ設定とする。 |
| | | ・市民の買物や通院での利用を考慮した運行時間帯を |
| | | 設定する。 |
| | | ・観光利用や商業施設利用を考慮するとともに道路の |
| | | 混雑状況に配慮したダイヤを設定する。 |
| | こまき巡回バス | ・人口集中地区を通り、各居住地から小牧市内の拠点 |
| 上江大 落軸 | 幹線系路線 | や公共施設へのアクセス利便性の確保や、中心拠点 |
| 生活交通軸 | | におけるモビリティの向上を支援することができ |
| (バス) | | るサービス水準とする。 |
| | | ・沿線地域のニーズに応じ、日 10 本以上(平日)の |
| | | 運行頻度を確保する。 |
| | | ・東西公共交通軸(バス)や都市間連絡軸(バス)と |
| | | の競合の回避に留意したルート及びダイヤ設定と |
| | | する。 |
| | こまき巡回バス | ・交通空白 <mark>地域</mark> 及び交通不便 <mark>地域</mark> をきめ細かく通り、 |
| | 支線系路線 | 各居住地から <mark>小牧</mark> 市内の拠点へのアクセス利便性 |
| | | の確保に留意したサービス水準とする。 |
| | | ・沿線地域のニーズに応じた運行頻度を確保する。 |
| | 近距離高速バス | ・名古屋市方向への移動ニーズに応じたサービス水準 |
| | 名古屋・桃花台線 | を確保する。 |
| | | ・通勤通学及び帰宅時間帯における乗客集中に対応で |
| 都市間連絡軸 | | きるサービス水準を確保するとともに、通勤通学で |
| (高速バス) | | の利用を考慮した運行時間帯を設定する。 |
| (同述ババ) | 近距離高速バス | ・小牧市内から名古屋市方向や岐阜県等の県外への移 |
| | 中央道桃花台バス停発着路線 | 動ニーズや沿線地域の移動ニーズに応じたサービ |
| | 高速バス | ス水準を確保する。 |
| | 中央道桃花台バス停発着路線 | |
| 隣接市町 | 犬山市コミュニティバス楽田西部線 | ・隣接市町が交通需要に応じたサービスを確保する。 |
| コミュニティバス | とよやまタウンバス北ルート | ・小牧市内と隣接市町間の移動ニーズを考慮したルー |
| 3327777 | | ト及びダイヤ設定とする。 |
| | あおい交通(※4) | ・個別の移動ニーズに柔軟に対応するとともに、鉄道 |
| タクシー | 小牧タクシー(※ 4) | やバス路線が運行していない地域や時間帯におけ |
| | 名鉄西部交通(※4) | る移動ニーズに応じた交通サービスを確保する。 |

(※4)小牧市内に営業所がある事業者

②実施する事業

路線の役割や交通サービス確保の考え方を踏まえ、基本的な考え方に基づき、「〈施策 1〉公共交通ネットワークの構築」に向けて取り組む事業を挙げます。

事業1-1 路線の役割や交通サービス確保の考え方に基づく運行の実施

【対象路線】

「南北鉄道軸」、「東西公共交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(バス)」、「生活交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(高速バス)※」に該当する全路線

【事業内容】

多様な公共交通のニーズに対応するため、路線の役割や交通サービス確保の考え方に 基づくサービス水準での運行を実施する。

【実施主体】

名古屋鉄道、名鉄バス、あおい交通、小牧市

【事業スケジュール】

| 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| 実施中 | 継続実施 | | | | |

[※]都市間連絡軸(高速バス)のうち、近距離高速バスの名古屋・桃花台線及び中央道桃花台バス停発着路線のうち名鉄バスが運行する路線を対象とする

事業1-2 こまき巡回バスの平日用、土日祝日用ダイヤの設定

【対象路線】

「生活交通軸(バス)」に該当する全路線

【事業内容】

定時性確保のため、道路の混雑状況に配慮した平日用、土日祝日用ダイヤを設定する。

【実施主体】

小牧市

| 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| _ | 検討・実施 | | | | |

事業1-3 各鉄道駅へのアクセス利便性の向上

【対象路線】

「東西公共交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(バス)」、「生活交通軸(バス)」に該当する路線のうち、鉄道駅へ乗り入れている路線

【事業内容】

広域移動ニーズに対応するため、鉄道駅へのアクセス利便性の向上に向けたルートの 見直しや鉄道との乗り継ぎに考慮したダイヤを設定する。

【実施主体】

名鉄バス、あおい交通、小牧市

【事業スケジュール】

| 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|-----|---------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| 実施中 | 改善検討·実施 | | | | |

事業1-4 隣接市町コミュニティバスとの連携した運行※

【対象路線】

「生活交通軸 (バス)」、「隣接市町コミュニティバス」に該当する全路線

【事業内容】

小牧市内と隣接市町間の移動ニーズに対応するため、路線バスやこまき巡回バスと隣接市町コミュニティバスが連携し合うルートやダイヤを設定する。

【実施主体】

犬山市、豊山町、小牧市

【事業スケジュール】

| 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|-----|---------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| 実施中 | 改善検討・実施 | | | | |

※隣接市町コミュニティバスの小牧市内への新規乗り入れにあたっては、乗り入れ路線を運行する自治体との調整を図る

事業1-5 名鉄小牧線の利便性向上

【対象路線】

「南北鉄道軸」

【事業内容】

拠点間連携や、名古屋市・犬山市方向への都市間移動ニーズに対応するため、名鉄小 牧線について、全線複線化、小牧駅以北の増便、高架化事業の推進等の検討、及び平 安通駅以南延伸の働きかけを長期的な視点から継続的に実施する。

【実施主体】

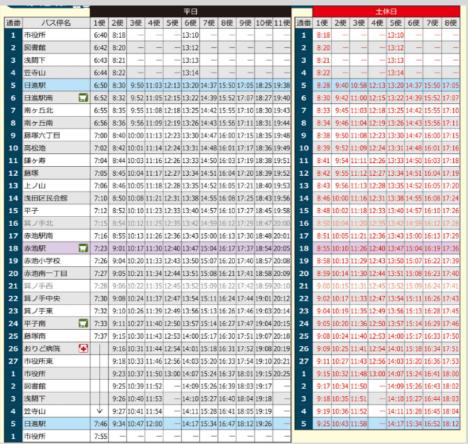
小牧市

【事業スケジュール】

| 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| 実施中 | 継続実施 | | | | |

【事業1-2の事例】 土休日用ダイヤの設定(愛知県日進市)

日進市は、くるりんばすを平日用ダイヤと土休日用ダイヤの2種類にて運行している。平日用ダイヤと土休日用ダイヤでは、利用状況や道路状況を考慮し、便数やバス停間の所要時間が異なっている。



(資料:日進市くるりんばす時刻表)

(2) 〈施策2〉交通結節機能の強化

①基本的な考え方

小牧市都市計画マスタープランにおいて位置づけている中心拠点(小牧駅周辺から市役所・小牧山周辺の一帯)、及び地域拠点(味岡駅周辺、桃花台センター地区及び藤島地区)を基幹とした公共交通ネットワークの構築により公共交通相互の連携を図るため、各拠点内の主要駅及び主要バス停を交通結節点と設定し、交通結節機能の強化を図ります。

1) 交通結節点の設定

以下に示す各拠点内の主要駅及び主要バス停を交通結節点と定める。

<中心拠点(小牧駅周辺から市役所・小牧山周辺の一帯)>

- ・小牧駅(小牧駅、小牧駅バス停、小牧駅西バス停)
- ・小牧市役所(小牧市役所前バス停)
- ・小牧市民病院(小牧市民病院前バス停、小牧市民病院バス停、小牧市民病院南バス停)

<地域拠点(味岡駅周辺)>

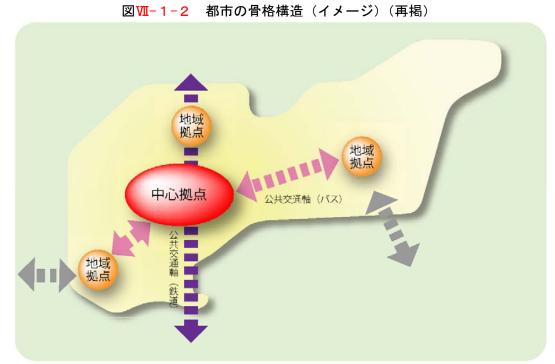
・味岡駅(味岡駅、味岡駅バス停)

<地域拠点(桃花台センター地区)>

- ・桃花台センター(桃花台センターバス停、桃花台センター(上)バス停、桃花台 センター(下)バス停、桃花台センター東バス停)
- ・中央道桃花台(中央道桃花台バス停)

<地域拠点(藤島地区)>

・藤島(藤島バス停、藤島団地バス停、とみづかバス停)



(出典:小牧市立地適正化計画)

②実施する事業

交通結節点において、基本的な考え方に基づき、「〈施策 2 〉交通結節機能の強化」に向けて取り組む事業を挙げます。

事業2-1 小牧市民病院、桃花台センター及び中央道桃花台バス停前ロータリー のバス停の集約化

【対象バス停】

小牧市民病院(小牧市民病院前バス停、小牧市民病院バス停、小牧市民病院南バス停)、桃花台センター(桃花台センターバス停、桃花台センター(上)バス停、桃花台センター(下)バス停、桃花台センター東バス停)、中央道桃花台バス停前ロータリー(中央道桃花台バス停、桃花台東バス停、大城バス停)

【事業内容】

乗り継ぎをより円滑にするため、小牧市民病院、桃花台センター、中央道桃花台バス 停前ロータリーについて、交通結節点として乗り入れ路線のバス停位置及びルートを 変更し、集約化する。

【実施主体】

名鉄バス、あおい交通、小牧市

| 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| _ | 検討・実施 | | | | |

事業2-2 交通結節点での乗り継ぎを考慮したダイヤ設定

【対象路線】

小牧駅、小牧市役所、小牧市民病院、味岡駅、桃花台センター、藤島に乗り入れている路線のうち、「南北鉄道軸」、「東西公共交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(バス)」、「生活交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(高速バス)※」に該当する全路線

【事業内容】

乗り継ぎをより円滑にするため、各交通結節点において、路線間の乗り継ぎに考慮したダイヤを設定する。

【実施主体】

名古屋鉄道、名鉄バス、あおい交通、小牧市

【事業スケジュール】

| 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|-----|---------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| 実施中 | 改善検討·実施 | | | | |

[※]都市間連絡軸(高速バス)のうち、近距離高速バスの名古屋・桃花台線及び中央道桃花台バス停発着路線のうち名鉄バスが運行する路線を対象とする

事業2-3 交通結節点での待合環境の充実

【対象交通結節点】

小牧駅、小牧市役所、小牧市民病院、味岡駅、桃花台センター、藤島

【事業内容】

乗り継ぎの負担を減らすため、各交通結節点において、最寄りの商業施設や公共施設 との連携、及び上屋やベンチ等の整備により、バスやタクシー及びその他送迎車両の 待合環境の充実を図る。

【実施主体】

小牧市

| 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| 実施中 | 継続実施 | | | | |

事業2-4 交通結節点での乗り継ぎに関する不安の解消

【対象交通結節点】

小牧駅、小牧市役所、小牧市民病院、味岡駅、桃花台センター、藤島

【事業内容】

乗り継ぎの負担を減らすため、各交通結節点において、乗継案内を掲載した総合案内板の設置、乗り継ぎ情報の提供、タクシー乗り場案内板の設置、タクシーの配車依頼 先の情報提供等を実施する。

【実施主体】

小牧市

【事業スケジュール】

| 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| 実施中 | 継続実施 | | | | |

【事業2-3の事例】 乗継地点の整備と待合環境の快適性向上(岐阜県岐阜市)

岐阜市では、幹線バスと支線バスの接続点をトランジットセンター(乗継地点)として整備している。

トランジットセンターでは、幹線バスと支線バスのスムーズな乗継ぎを実現させるために運行ダイヤの改善等を行っている。

さらに待合環境の改善として、多くの利用があるバス停では、液晶ディスプレイによる運行状況の 表示が行われている。

乗継地点 岐阜大学



ハイグレードバス停



待合の上屋、バスロケーションシステムが整備されている

(資料:地域公共交通の確保・維持・改善に向けた利用促進事例集)

(3) 〈施策3〉公共交通の利用促進

①基本的な考え方

公共交通をより利用してもらうため、利用促進策について以下の4つの視点で整理し、それぞれの 視点に基づき事業を実施します。

【視点】

- ・情報提供の拡充
- ・利用者の拡大
- ・利便性の向上
- ・観光との連携強化

②実施する事業

基本的な考え方に基づき、「〈施策3〉公共交通の利用促進」に向けて取り組む事業を、4つの視点において、それぞれ挙げます。

1) 情報提供の拡充を図る事業

公共交通利用者にとって、よりわかりやすく情報の得やすい公共交通を目指すため、取り組む事業を挙げます。

事業3-1 公共交通マップや時刻表による情報提供

【事業内容】

よりわかりやすい情報を提供するため、情報の種類を充実させる。

【具体例】

- ・公共交通マップの見直し
- ・公共交通マップの多言語化の実施
- ・見やすさに配慮した拡大版の路線別時刻表の配布の実施
- ・乗り継ぎに配慮した時刻表の作成
- ・各地域から最寄り駅や主要施設への行き方をまとめた地域別マップの作成
- ・各地域から名古屋市方向への行き方をまとめた地域別マップの作成

【実施主体】

小牧市

| 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|-----|---------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| 実施中 | 拡大検討·実施 | | | | |

事業3-2 多様なツールによる情報提供

【事業内容】

利用者が情報をより得やすくするため、多様なツールにより情報を提供する。

【具体例】

- ・公共交通マップへの乗り継ぎ情報、インターネット上の時刻表等へのリンク(QR) コード) の掲載
- ・インターネット上での乗り換え案内サービスの実施
- バスロケーションシステムの導入検討
- 小牧市ホームページのレイアウトの見直し
- ・公共交通に関する情報を提供する新たなスマートフォン用アプリとの連携

【実施主体】

小牧市

【事業スケジュール】

| 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|-----|---------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| 実施中 | 拡大検討·実施 | | | | |

公共交通を網羅したマップ(岐阜県各務原市) 【事業3-1の事例】

各務原市では、市内の公共交通を網羅した公共交通マップを作成し、マップ上には、乗継拠点と乗 り入れ路線が表記されている。

また、時刻表には乗継拠点でどの路線に接続するかをイラストにてわかりやすく表記している。



(資料:各務原市ふれあいバスふれあいタクシー路線図・時刻表)

【事業3-2の事例】 バスロケーションシステムによる情報提供(北名古屋市)

北名古屋市では、市内循環バスのきたバスにバスロケーションシステムを導入しており、リアルタイムの運行状況をホームページ上で公開している。

| | | << 前の3便を表示す | -a | |
|-----------|---|-------------|-------|--------|
| 停留所/時刻表 | | 通常 | "運行 | |
| | | 定刻 | 到着予定 | 定刻 |
| ● 健康ドーム | 9 | 11:45 | | 15:0 |
| ● 西春駅東口 | 9 | 11:48 | | 15:0 |
| ● 済衆館病院西 | 9 | 11:49 | 1 | 15:0 |
| ● 済衆館病院前 | ₽ | 11:50 | 通常 | 運行 5:1 |
| ● 市役所西庁舎東 | 9 | 11:56 | 11:57 | 15:1 |
| ●ピアゴ西春店前 | 9 | 11:57 | 11:58 | 15:1 |

(資料:北名古屋市ホームページ)

2) 利用者の拡大を図る事業

公共交通の新規利用者の開拓や、市民の公共交通を支える意識を醸成し、身近な公共交通を目指すため、取り組む事業を挙げます。

事業3-3 モビリティ・マネジメント

【事業内容】

普段公共交通を利用していない方に利用してもらうため、ふれあう機会を作る。

【具体例】

- ・特定地域の住民を対象としたバスの乗り方教室の開催
- ・地域や市民団体の会合での出前講座の実施
- ・学校におけるモビリティ・マネジメントの実施
- スタンプラリーの実施

【実施主体】

小牧市

【事業スケジュール】

| 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|-----|---------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| 実施中 | 拡大検討·実施 | | | | |

事業3-4 地域や学校との連携

【事業内容】

公共交通に親しみをもってもらうため、地域や学校と連携した取組みを実施する。

【具体例】

- ・バス車内における園児の絵画展の開催
- ・児童や生徒の絵画のラッピングバスの運行
- 児童による車内音声案内の実施
- ・学生を対象とした利用啓発活動の実施
- ・市民団体等の活動(レンタサイクル等)との連携

【実施主体】

名鉄バス、あおい交通、小牧市

| 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|-----|---------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| 実施中 | 拡大検討·実施 | | | | |

事業3-5 交通事業者との連携

【事業内容】

公共交通に親しみをもってもらうため、交通事業者と連携しPRを実施する。

【具体例】

- ・イベントでの車両展示等の啓発活動の実施
- ・バスやタクシーの乗り方教室の開催

【実施主体】

名鉄バス、あおい交通、小牧タクシー、名鉄西部交通、小牧市

【事業スケジュール】

| 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|-----|---------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| 実施中 | 拡大検討·実施 | | | | |

事業3-6 未利用者へのPR

【事業内容】

移動方法の一つとして検討してもらうため、公共交通を知ってもらう機会を作る。

【具体例】

- ・市内転入者へ公共交通マップや路線別時刻表の配布
- ・企業への公共交通マップの配布
- ・小牧市ウォーキングアプリ「alko(アルコ)」との連携

【実施主体】

小牧市

| 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| _ | 検討・実施 | | | | |

【事業3-3の事例】 小学生対象のモビリティ・マネジメントの実施(北海道札幌市)

札幌市では、小学校の教諭等から構成される「札幌らしい交通環境学習プロジェクト」等と小学生 向けのモビリティ・マネジメントの学習資料や教師向けの指導書を作成し、小学生対象のモビリティ・マネジメントを実施している。





(資料:札幌市ホームページ)

【事業3-6の事例】 転入者向けPR (静岡県浜松市)

浜松市では、転入者に対し転入届提出時に、路線図や時刻表に加え、啓発冊子やバスの乗り方を説明した資料を配布している。啓発冊子では環境、健康、交通事故の側面から公共交通利用のメリットを示しながら、「かしこいクルマの使い方」を提案している。





(資料:地域公共交通の確保・維持・改善に向けた利用促進事例集)

3) 利便性の向上を図る事業

すべての利用者にとって使いやすい公共交通を目指すため、取り組む事業を挙げます。

事業3-7 鉄道駅のバリアフリー化

【対象駅】

小牧口駅、田県神社前駅

【事業内容】

高齢者や障がい者等の移動制約者にとっても利用しやすい公共交通とするため、対象 駅についてバリアフリー化を実施する。

【具体例】

・駅舎内施設のバリアフリー整備を実施

【実施主体】

名古屋鉄道

【事業スケジュール】

| 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| 実施中 | 継続実施 | | | | |

事業3-8 駅前広場及び自転車等駐車場の整備

【対象駅】

市内各鉄道駅

【事業内容】

より使いやすい鉄道駅とするため、駅前広場、駐車場、自転車等駐車場等の環境を整備する。

【具体例】

- ・小牧口駅前広場、自転車等駐車場の整備
- ・市内各鉄道駅の自転車等駐車場の環境整備

【実施主体】

小牧市

| 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| 実施中 | 継続実施 | | | | |
| | | | | | |

事業3-9 交通系 | Cカード利用環境の整備

【対象路線】

「南北鉄道軸」、「東西公共交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(バス)」、「生活交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(高速バス)※」に該当する全路線

【事業内容】

利便性向上のため、他の公共交通機関と互換性のある I Cカードの利用環境整備を検討する。

【具体例】

- ・小牧市内を運行する鉄道及びバス路線の全路線における交通系 I Cカードの導入に 向けた検討
- ・交通系ICカードの普及に向けた各種PR活動の実施

【実施主体】

名古屋鉄道、名鉄バス、あおい交通、小牧市

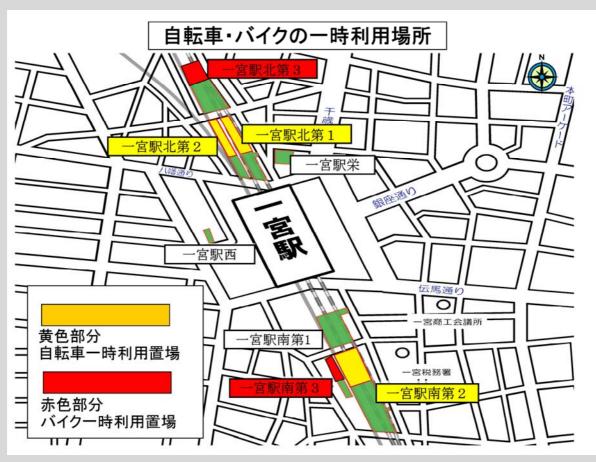
【事業スケジュール】

| 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|-----|---------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| 実施中 | 拡大検討·実施 | | | | |

※都市間連絡軸(高速バス)のうち、近距離高速バスの名古屋・桃花台線及び中央道桃花台バス停発着路線のうち名鉄バスが運行する路線を対象とする

【事業3-8の事例】 駅前駐輪場の整備(愛知県一宮市)

一宮市では、一宮駅の周辺に複数の駐輪場を整備している。一部の駐輪場では、交通系 I C カードでの支払いが可能な駐輪場も整備されており、定期利用者だけでなく、一時利用者の利便性も考慮されている。





(資料:一宮市ホームページ、HELLO!!138ホームページ)

4) 観光との連携強化を図る事業

公共交通と観光振興の連携強化を図るため、取り組む事業を挙げます。

事業3-10 観光振興にかかるPR

【事業内容】

観光において公共交通を利用してもらうため、関連した事業を実施する。

【具体例】

- ・観光モデルルートの設定及びPR活動の実施
- ・小牧市内でのイベント開催時のバス利用の呼びかけ

【実施主体】

小牧市

【事業スケジュール】

| 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| _ | 検討・実施 | | | | |

事業3-11 観光施設との連携

【事業内容】

観光施設及び公共交通の利用促進のため、観光施設と連携した取り組みを実施する。

【具体例】

- ・観光施設の割引制度の実施
- ・観光施設も考慮したこまき巡回バスのダイヤを設定する。

【実施主体】

小牧市

| 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| _ | 検討・実施 | | | | |

【事業3-11の事例】 犬山城下町きっぷ(名古屋鉄道)

名古屋鉄道では、犬山駅までの名鉄電車の往復乗車券の割引、犬山城の入場券の引換券、名鉄クーポン引換券が一体となった「犬山城下町きっぷ」を発行しており、犬山城への観光促進と名鉄電車の利用促進を図っている。



(資料:名古屋鉄道ホームページ)

(4) 〈施策4〉持続可能な交通サービスの提供

①基本的な考え方

路線の役割に応じた交通サービスが提供できているのかについて検証するとともに、経済的な視点から、福祉施策など他の施策と、費用対効果等の様々な角度で比較・検証しながら、安定的、持続的なサービス提供をするための仕組みを構築します。その仕組みに基づき、持続可能な交通サービスの提供を目指します。

②実施する事業

基本的な考え方に基づき、「〈施策 4〉持続可能な交通サービスの提供」に向けて取り組む事業を挙 げます。

事業4-1 公共交通ネットワークの見直しの仕組みに基づく対応策等の実施

【対象路線】

「南北鉄道軸」、「東西公共交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(バス)」、「生活交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(高速バス)※」、「タクシー」に該当する全路線

【事業内容】

持続可能な交通サービスの提供のため、基本的な考え方<mark>を踏まえ、</mark>公共交通ネットワークの評価・検証の仕組みに基づき、対応策を実施する。

【実施主体】

名古屋鉄道、名鉄バス、あおい交通、小牧タクシー、名鉄西部交通、小牧市

| 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| _ | 実施 | | | | |

[※]都市間連絡軸(高速バス)のうち、近距離高速バスの名古屋・桃花台線及び中央道桃花台バス停発着路線のうち名鉄バスが運行する路線を対象とする

事業4-2 運賃体系のあり方の検討

【対象路線】

「南北鉄道軸」、「東西公共交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(バス)」、「生活交通軸(バス)」、「都市間連絡軸(高速バス)※」、「タクシー」に該当する全路線

【事業内容】

市民や利用者のニーズや交通事業者との協議を踏まえ、経済的に維持が可能で、安定的・持続的なサービス提供が可能となる運賃体系を検討する。

【実施主体】

名古屋鉄道、名鉄バス、あおい交通、小牧タクシー、名鉄西部交通、小牧市

【事業スケジュール】

| 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| _ | 検討・実施 | | | | |

[※]都市間連絡軸(高速バス)のうち、近距離高速バスの名古屋・桃花台線及び中央道桃花台バス停発着路線のうち名鉄バスが運行する路線を対象とする

事業4-3 こまき巡回バスの収入源の確保

【事業内容】

持続可能な交通サービスの提供のため、企業広告等により財源を確保する。

【具体例】

・バスの車体、バス停、公共交通マップ等を活用した企業広告の実施

【実施主体】

小牧市

| 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |
|-----|---------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| 実施中 | 拡大検討・実施 | | | | |

【事業4-3の事例】 バス時刻表への広告掲載(岐阜県関市)

関市では、年に1回発行している関シティバスの時刻表に1枠30,000円の広告欄を設け、広告掲載を募集しており、その収入を関シティバスの運行経費の一部に充てている。



【参考:周辺市町のコミュニティバスの運賃体系(平成29年4月現在)】

| | 運賃 | 凹のコミューティハ <i>人</i> () | 割引制度 | 市町の負担額等【H28】 |
|------------------------------|-------------------------|--|----------------------------------|---|
| 小牧市 | ・大人: 200 円/ 1 | ・高齢者(65 歳以上) | | 【利用者 1 人当たり負担額】 |
| (こまき巡 | 目 | ※市内居住者及び市外 | 2,000 円 | 約 530 円/人 |
| 回バス) | ・小学生:100円/ | 居住者 | ・ピーチバスからこまき | 【人口1人当たり負担額】 |
| | 1 日 | ・幼児 - カルマカー K - 15 - カー | 巡回バスに乗り継ぐ場 | 約 2, 170 円/人 |
| | | ・身体障害者手帳、療育 | 合、当日に限り2回ま | CUIT WWW OOF AND |
| | | 手帳、精神障害者保健 福祉手帳の所有者及 | で無料 ・こまき巡回バスからピ | 利用者数:625,473 人 人口:153,526 人 |
| | | で付添い人1名 | ーチバスに乗り継ぐ場 | 負担額:約 332,696 千円 |
| | | ピーチバスまたは名鉄 | 合、当日に限り2回ま | 東西原: MJ 802, 000 1 1 1 |
| | | バス (小牧市内を起終 | でピーチバスは50円割 | |
| | | 点とする区間) の定期 | 引 | |
| -t | | 券所有者 | | |
| 春日井市 | ・大人:200円 | ・未就学児 | ・回数券(11 枚綴り): 1,000円 | 【利用者 1 人当たり負担額】 約 430 円/人 |
| (かすがい シティバス) | ・小人:100 円 ・75 歳以上の高齢 | ・障がい者(手帳所持者) 及び障がい者等付添 | ・1,000円 ・1日乗車券:大人 500 | 約 430 円/人 【人口1人当たり負担額】 |
| | 者:100円 | 人1名 | 円、小人 300 円、75 歳 | 約 440 円/人 |
| | ・74 歳以下の運転 |) (1 I | 以上の高齢者 300 円、 | 4.5 |
| | 免許自主返納 | | 74 歳以下の運転免許自 | 利用者数:316,823人 |
| | 者:100円 | | 主返納者 300 円、妊婦 | 人口:311,236人 |
| 15.11 | · 妊婦:100円 | ************************************** | 300 円 | 負担額:約135,666千円 |
| 大山市 | ・大人:200円/1 | ・障害者手帳所持者及び | ・回数券(11 枚綴り): | 【利用者1人当たり負担額】 |
| (犬山市コミュニティ | 日 ・小学生:100 円/ | 付添い1名 | 2,000 円 | 約 580 円/人 【人口1人当たり負担額】 |
| バス) | 1日 1日 | | | 約 660 円/人 |
| , | ± 11 | | | 4.3 |
| | | | | 利用者数:85,383人 |
| | | | | 人口:74,709人 |
| | | | | 負担額:約 49,594 千円 |
| 大口町 | ・200 円均一 | ・小学生以下 | ・回数券 (11 枚綴り): | 【利用者1人当たり負担額】 |
| (大口町コミュニティ | | | 1,000円 ・1日乗車券(11 枚綴 | 約 300 円/人 【人口1人当たり負担額】 |
| バス) | | | り):2,000円 | |
| | | | <i>yy</i> . 2, 000 1 | 4.5 1, 010 13/ 20 |
| | | | | 利用者数: <mark>126, 545</mark> 人 |
| | | | | 人口: 23, 470 人 |
| | 100 1114 | エ ※ 4. カ 子 | □ W. W. (40 M. 977 10) | 負担額:約37,847千円 |
| 北名古屋市 (きたバス) | ・100 円均一 | ・中学生以下 ・身体障害者手帳、療育 | ・回数券(12 枚綴り): 1,000円 | 【利用者 1 人当たり負担額】 約 310 円/人 |
| (さたハス) | | 手帳、精神障害者保健 | 1,000円 | 【人口1人当たり負担額】 |
| | | 福祉手帳をお持ちの | | 約 720 円/人 |
| | | 方とその付き添いの | | 199 |
| | | 方 1 名 | | 利用者数:196, 946 人 |
| | | | | 人口:84,483人 |
| 曲口四十 | . 100 - F00 FI | 1. 学生土港 | . 同粉光 (100 円光 11 光) | 負担額:約60,758千円 【利田老11441日446】 |
| 豊山町(とよやま | ・100~500円 | ・小学生未満 | ・回数券(100 円券 11 枚 綴り): 1,000 円 | 【利用者 1 人当たり負担額】 約 290 円/人 |
| タウンバス) | | | ・回数券(200 円券 11 枚 | 利 250 円/ 八 【人口1人当たり負担額】 |
| | | | 綴り):2,000円 | 約 1, 420 円/人 |
| | | | ・小学生、障害者手帳を | .= |
| | | | お持ちの方とその同伴 | 利用者数:76,187人 |
| | | | 者1名は半額 | 人口:15,394人 |
| , | 100 000 111 | 十 卦 쓰 1ロ | □华L业 /++ 北/2007 16 \ | 負担額:約21,832千円 |
| 一宮市 (<mark>i</mark> -バス) | ・100~200 円 | ・未就学児 | ・回数券(11 枚綴り): | 【利用者 1 人当たり負担額】 約 260 円/人 |
| | | | 1,000 円 ・1 日乗車券:500 円 | 約 200 円/人 【人口1人当たり負担額】 |
| | | | ・一宮おでかけバス手 | 大口 八コ 八コ 10 10 10 10 10 10 10 1 |
| | | | 形:600円 | |
| | | | ・身体障害者・療育・精 | 利用者数: 251, 230 人 |
| | | | 神障害者保健福祉手帳 | 人口:386,094人 |
| | | | をお持ちの方と、介添 | 負担額:約 64,487 千円 |
| | | | えのための付き添い者 | |
| | | | は半額 | |

2. 各事業と将来像及び課題の関係性

次に、本計画における将来像、基本方針、目標、施策、事業、評価指標、課題の関係性について整理します。

表 11-2-1 将来像、基本方針、目標、施策、事業、評価指標、課題の関係性

| | | | | | | | | | | | | | | 施策 | | | | | | | | | | | | | |
|--|-------------------------------------|---|-------|-----------|-------------|-----------|----|-----------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|-----------|-------------------|--|----------------|---------------|
| 将来像 | 基本方針 | 目標 | 公井 | 共交通ネ | (1) ペットワ | リークの | 構築 | 交证 | (2 通結節機 | 2) 幾能の強 | 金化 | | | | | 公共交 | (3) 通の利 | 用促進 | | | | | | (4) 可能な ビスの | 評価指標 | 目指 す方 向性 | |
| | | | 事業1-1 | 事業 1-2 | | 事業 1-4 | | 事業 2-1 | 事業 2-2 | 事業 2-3 | 事業 2-4 | 事業 3-1 | 事業 3-2 | 事業 3-3 | 事業 3-4 | 事業 3-5 | 事業 3-6 | 事業 3-7 | 事業 3-8 | 事業 3-9 | 事業 3-10 | 事業 3-11 | 事業 4-1 | | | | |
| 1 活力ある まちづく りを支え る交通体 系 | の拠点相 互の連携 | 1-1 拠点相互 の公共交 通利用者 の増加 | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | 0 | | 中心拠点及び地域 拠点の交通結節点 相互をバスで移動 する利用者数 | | → [|
| | 1- ② 中心拠点 の活性化 を支援す | 1-2 中心拠点 における 鉄道・バス 乗車人 の増加 | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | 0 | | 中心拠点の交通結 節点における鉄 道・バスの日平均 乗車人数 | | 「将来像1」の実現 |
| | 街地形成 を支援す | 1-3 地域拠点 における 鉄道・バス 乗車人数 の増加 | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | 0 | | 地域拠点の交通結 節点における鉄 道・バスの日平均 乗車人数 | | \Rightarrow |

<「将来像1」の実現により解決を図る課題※>

- <1>小牧市が目指す多極ネットワーク型コンパクトシティの形成に向けては、まちづくりに関する計画、観光振興等とも連携し、公共交通を軸とした公共交通ネットワークを構築することが必要です。
- <2>公共交通ネットワークの構築にあたっては、市民が望む市内医療施設等へのアクセス及び市内拠点間の連携に加え、名古屋市への行きやすさに配慮が必要です。
- 〈7〉持続可能な公共交通として利用者の確保・維持を図るためには、各公共交通機関が果たすべき役割・機能を明確化した上で、交通事業者や小牧市が連携して機能に応じたサービスの改善・提供を検討する必要があります。
- 〈8〉各拠点におけるバス路線相互の乗り継ぎ利便性を強化し、公共交通ネットワークとして機能した公共交通の構築が必要です。
- <10>こまき巡回バスの評価・検証は、個別路線としての見直しの必要性を把握するうえで必要な指標ですので、今後も継続的な実施は必要ですが、本計画に掲げる目標の達成状況を評価する指標として、鉄道や路線バス等を含めた公共交通ネットワークとしての目標値の設定が必要です。
- 〈11〉公共交通の評価にあたっては、路線が経由する地域特性や利用特性を踏まえた評価指標・基準値及び見直し方針(確保・維持・改善)の設定が必要です。

※Ⅳ(P94~)参照

表Ⅲ-2-2 将来像、基本方針、目標、施策、事業、評価指標、課題の関係性

| | | | | | | | | | | | | | | 施策 | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|----------------------|---|-----------|--------|-------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|--------|-----------|------------|------------|-----------|--------------------|-----------|---|----------------|---------------|
| 将来像 | 基本方針 | 目標 | 公共 | ・交通ネ | (1) ドットワ | フークの | 構築 | 交ù | (2 通結節機 | | 蛍化 | | | | | 公共交 | (3) 通の利 | 用促進 | | | | | | (4) 可能な -ビスの | | 評価指標 | 目指 す方 向性 | |
| | | | 事業 1-1 | 事業 1-2 | | 事業 1-4 | 事業 1-5 | 事業 2-1 | 事業 2-2 | 事業 2-3 | 事業 2-4 | 事業 3-1 | 事業 3-2 | 事業 3-3 | 事業 3-4 | 事業 3-5 | 事業 3-6 | 事業 3-7 | 事業 3-8 | 事業 3-9 | 事業 3-10 | 事業 3-11 | 事業 4-1 | 事業 4-2 | 事業 4-3 | | | |
| 2 持続可能 な交通体 系 | | の利用頻 | 0 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | | | 0 | | | 鉄道、路線バス、 こまき巡回バス、 ⇒ タクシーを月に1 回以上の利用をす る人の割合 | 7 | \Rightarrow |
| | さしい交通体系の構築 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | 0 | 0 | | | 0 | | | 鉄道、路線バス、 こまき巡回バスを 通勤または通学目 的で利用する人の 割合 | 7 | 「将来像2」 |
| | 維持が可 能で、安 定的・持 | 2-2 市舗及路 まるの で で で で で で の で で の で の で の で り で り で | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | 0 | 市補助路線及びこ まき巡回バスの収 支率 | 7 | 2」の実現 |

<「将来像2」の実現により解決を図る課題※>

- <4>こまき巡回バスの認知度は、高いものの利用していない市民が多い状況にあり、バスのダイヤやルート、料金、乗り継ぎに関する情報・案内等について、出前講座などを実施して周知することにより利用促進を図ることが必要です。
- 〈6〉こまき巡回バスのサービス提供にあたっては、適正な受益者負担に基づく料金設定や、福祉施策との調整を踏まえた料金割引制度の運用等の検討が必要です。
- 〈7〉持続可能な公共交通として利用者の確保・維持を図るためには、各公共交通機関が果たすべき役割・機能を明確化した上で、交通事業者や小牧市が連携して機能に応じたサービスの改善・提供を検討する必要があります。
- < 9>地域公共交通の活性化及び再生の推進に向けては、過度な自動車利用から公共交通利用への転換を促すため、企業や教育機関など対し、公共交通の利用に対するメリット等を周知するなど、公共交通利用に対する意識改革 を進める必要があります。
- <10>こまき巡回バスの評価・検証は、個別路線としての見直しの必要性を把握するうえで必要な指標ですので、今後も継続的な実施は必要ですが、本計画に掲げる目標の達成状況を評価する指標として、鉄道や路線バス等を含めた公共交通ネットワークとしての目標値の設定が必要です。
- <11>公共交通の評価にあたっては、路線が経由する地域特性や利用特性を踏まえた評価指標・基準値及び見直し方針(確保・維持・改善)の設定が必要です。

※Ⅳ(P94~)参照

表Ⅲ-2-3 将来像、基本方針、目標、施策、事業、評価指標、課題の関係性

| | | | | | | | | | | | | | | 施策 | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-------------------------------------|-------------------------------|-----------|------|-------------|-----|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----|-----------|-----|-----|------------|-----------|-----------|-----|------------|------------|-----------|--------------------|--------|---------------------------------|----------------|---------------|
| 将来像 | 基本方針 | 目標 | 公共 | ・交通ネ | (1) ドットワ | ークの | 構築 | 交证 | (2 通結節機 | | 金化 | | | | | 公共交 | (3) 通の利 | 用促進 | | | | | | (4) 可能な -ビスの | | 評価指標 | 目指 す方 向性 | |
| | | | 事業 1-1 | | 事業 1-3 | | 事業 1-5 | 事業 2-1 | | 事業 2-3 | | 事業 3-1 | 事業 | 事業 3-3 | 事業 | 事業 | 事業 | 事業 3-7 | 事業 3-8 | | 事業 3-10 | 事業 3-11 | 事業 4-1 | 事業 | 事業 4-3 | | | |
| 3 | 3-0 | 3-1 | 1-1 | 1-2 | 1-3 | 1-4 | 1-5 | 2-1 | 2-2 | 2-3 | 2-4 | 3-1 | 3-2 | 3-3 | 3-4 | 3-5 | 3-0 | 3-1 | 3-6 | 3-9 | 3-10 | 3-11 | 4-1 | 4-2 | 4-3 | 公共交通徒歩圏域 | | |
| 地域を支える交通 | | 公共交通 徒歩圏域 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 人口カバー率 | | |
| 体系 | 低限の交 | | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | $ \Rightarrow $ | 7 | \Rightarrow |
| | 通サービ スの提供 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3-② 高齢者や 障がい者 等の移動 制約者を | 3-2-2 高齢者や 障がい者 等の公共 | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | 0 | | | | | | | | 高齢者及び障がい 者等の公共交通に 対する不満足度 | 7 | 「将来像3」の実現 |
| | | 足度の改 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

<「将来像3」の実現により解決を図る課題※>

- 〈3〉多様化する市民ニーズに対応するためには、高齢者人口の増加や公共交通の乗降状況を考慮したバリアフリー車両の導入、利用者の歩行圏域や地域住民意向を考慮したバス停設置等、必要に応じたサービスの展開が必要です。
- <10>こまき巡回バスの評価・検証は、個別路線としての見直しの必要性を把握するうえで必要な指標ですので、今後も継続的な実施は必要ですが、本計画に掲げる目標の達成状況を評価する指標として、鉄道や路線バス等を含めた公共交通ネットワークとしての目標値の設定が必要です。

※Ⅳ(P94~)参照

表Ⅲ-2-4 将来像、基本方針、目標、施策、事業、評価指標、課題の関係性

| | | | | | | | | | | | | | | 施策 | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|------|-------------|-----------|-----------|-------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----|-----------|------------|------------|-----------|--------------------|-----------|-------------------|----------------|---|
| 将来像 | 基本方針 | 目標 | 公井 | 共交通ネ | (1) ドットワ | ークの | 構築 | 交流 | (2 通結節機 | | | | | | | 公共交 | (3) 通の利 | 用促進 | | | | | (4) 可能な ·ビスの | | 評価指標 | 目指 す方 向性 | |
| | | | 事業 1-1 | 事業 1-2 | 事業 1-3 | 事業 1-4 | 事業 1-5 | 事業 2-1 | 事業 2-2 | 事業 2-3 | 事業 2-4 | 事業 3-1 | 事業 3-2 | 事業 3-3 | 事業 3-4 | 事業 3-5 | 事業 3-6 | | 事業 3-9 | 事業 3-10 | 事業 3-11 | 事業 4-1 | 事業 4-2 | 事業 4-3 | | | |
| 4 | 4-0 | 4-1-1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 鉄道または高速バ | | |
| 交流を <mark>促</mark> す交通体 | | 市外への乗り継ぎ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | スへ乗り継ぐバス 利用者のバスに対 | | |
| 系 | | 利用者の | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | する不満足度 | | |
| | 系の構築 | | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | $\Rightarrow $ | 7 | $ \Rightarrow $ |
| | | する不満 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 足度の改 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 善 4-1-2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 市内の各拠点から | | |
| | | 市内の各 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 名古屋駅への移動 | | 「将来像4 |
| | | 拠点から | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | 時間 | | $\begin{vmatrix} \Rightarrow & 4 \end{vmatrix}$ |
| | | 名古屋へ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 7 | |
| | | の移動時 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | の実現 |
| | 4-2 | 間の短縮 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 主要観光施設の最 | | - " |
| | _ | 観光施設 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 寄り駅・最寄りバ | | |
| | にも対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ス停の日平均乗車 | | |
| | | 駅・最寄り | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | | | | → 人数 | 7 | \Rightarrow |
| | サービス | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | の提供 | 乗車人数 の増加 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

<「将来像4」の実現により解決を図る課題※>

- <1>小牧市が目指す多極ネットワーク型コンパクトシティの形成に向けては、まちづくりに関する計画、観光振興等とも連携し、公共交通を軸とした公共交通ネットワークを構築することが必要です。
- <2>公共交通ネットワークの構築にあたっては、市民が望む市内医療施設等へのアクセス及び市内拠点間の連携に加え、名古屋市への行きやすさに配慮が必要です。
- <5>市外からの来訪者には、移動交通の便利さや案内表示のわかりやすさが求められており、利用しやすい交通機関等の環境充実やわかりやすい案内・情報の提供が必要です。

※IV (P94~)参照

表Ⅲ-2-5 将来像、基本方針、目標、施策、事業の関係性(将来像1~4のまとめ)

| | | | | | | | | | | ·\] # \ | | | | 施策 | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|------|-------|-----------|-----------|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|-----------|-----------------------|-----------|
| 将来像 | 基本方針 | 目標 | 公 | 〉共交通 | (1) ネットワ· | ークの構 | 築 | 玄 | | 2) 幾能の強 ^へ | 化 | | | | | 公共交 | (3) E通の利用 | 用促進 | | | | | | (4) 記可能なる -ビスの打 | |
| | | | 事業 1-1 | 事業 1-2 | 事業 1-3 | 事業 1-4 | 事業 1-5 | 事業 2-1 | 事業 2-2 | 事業 2-3 | 事業 2-4 | 事業 3-1 | 事業 3-2 | 事業 3-3 | 事業 3-4 | 事業 3-5 | 事業 3-6 | 事業 3-7 | 事業 3-8 | 事業 3-9 | 事業 3-10 | 事業 3-11 | 事業 4-1 | 事業 4-2 | 事業 4-3 |
| 1 活力あるまち づくりを支え | _ | 1-1 | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | 0 | | |
| る交通体系 | 1-2 | 1-2 | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | 0 | | |
| | 1-6 | 1-3 | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | 0 | | |
| 2 持続可能な交 通体系 | 2-0 | 2-1-1 | 0 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | | | 0 | | |
| 通体系 | 2-0 | 2-1-2 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | 0 | 0 | | | 0 | | |
| | 2-2 | 2-2 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | 0 |
| 3 地域を支える 交通体系 | 3-1 | 3-1 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3-2 | 3-2-2 | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | 0 | | | | | | | |
| 4 交流を <mark>促す</mark> 交 通体系 | | 4-1-1 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | |
| | 4-1 | 4-1-2 | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 4-2 | 4-2 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | 0 | | | |

3. 各事業の実施主体とスケジュールの整理

4つの施策に対応した各事業について、その実施主体とスケジュールを整理します。

〈施策1〉公共交通ネットワークの構築

| 中族オス東世 | 中华子体 | | | 事業スケ | ジュール | | | 備考 |
|--|--------------------------|-----|---------|--------|--------|--------|---------|--|
| 実施する事業 | 実施主体 | 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 | 1 |
| 1-1 路線の役割や交通サービス確保の考え方に 基づく運行の実施 | 名古屋鉄道、名鉄パス、あおい交通、 小牧市 | 実施中 | 継続実施 | | | | | |
| 1−2 こまき巡回バスの平日用、土日祝日用ダイヤ の設定 | 小牧市 | _ | 検討·実施 | | | | | |
| 1−3 各鉄道駅へのアクセス利便性の向上 | 名鉄バス、あおい交通、小牧市 | 実施中 | 改善検討·実施 | | | | | |
| 1−4 隣接市町コミュニティバスとの連携した運行 <mark>※</mark> | 犬山市、豊山町、小牧市 | 実施中 | 改善検討·実施 | | | | | ※隣接市町コミュニティバスの小牧市内への新規乗り入れにあたっては、乗り入れ路線を運行する自治体との調整を図る |
| 1-5 名鉄小牧線の利便性向上 | 小牧市 | 実施中 | 継続実施 | | | | - | |

〈施策2〉交通結節機能の強化

| 実施する事業 | 実施主体 | | | 事業スケ | ジュール | | | 備考 |
|--------------------------------|---|-------------------|---------|--------|--------|--------|-------------------|------------------------|
| 关肥りる事業 | 美 爬土体 | 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 | 佣'与 |
| 2-1 小牧市民病院、桃花台センター及び中央道桃花 | 名鉄バス、あおい交通、小牧市 | | | | | | | 【小牧市民病院】平成 32 年度整備予定 |
| 台バス停前ロータリーのバス停の集約化 | 130 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 3 | _ | 検討·実施 | | | | | T MINDS TO THE MIND TO |
| 2-2 | 名古屋鉄道、名鉄パス、あおい交通、 | \longrightarrow | | | | | | |
| 交通結節点での乗り継ぎを考慮したダイヤ設定 | 小牧市 | 実施中 | 改善検討·実施 | | | | , | |
| 2-3 | .1. 44 | | | | | | \longrightarrow | 【小帖十只忘啦】亚代 20 左连勒供又克 |
| 交通結節点での待合環境の充実 | 小牧市 | 実施中 | 継続実施 | | | | · | 【小牧市民病院】平成 32 年度整備予定 |
| 2-4 | 1.46 | | | | | | \longrightarrow | |
| 交通結節点での乗り継ぎに関する不安の解消 | 小牧市 | 実施中 | 継続実施 | | | | , | |

〈施策3〉公共交通の利用促進

| 中族オス市業 | 実施主体 | | | | | | | |
|---------------------------|----------------------------------|-----|---------|---|--------|--------|--------|--|
| 実施する事業 | | 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 | 備考 |
| 3-1 公共交通マップや時刻表による情報提供 | 小牧市 | 実施中 | 拡大検討·実施 | | | | | 【実施中】公共交通マップの拡大版の配布 |
| 3-2 多様なツールによる情報提供 | 小牧市 | 実施中 | 拡大検討·実施 | | | | | 【実施中】インターネット上での乗り換え 案内サービス |
| 3-3 モビリティ・マネジメント | 小牧市 | 実施中 | 拡大検討·実施 | | | | | 【実施中】特定地域の住民を対象としたバスの乗り方教室、地域や市民団体の会合での出前講座、スタンプラリー |
| 3-4 地域や学校との連携 | 名鉄バス、あおい交通、小牧市 | 実施中 | 拡大検討·実施 | | | | | 【実施中】バス車内における園児の絵画展、 児童や生徒の絵画のラッピングバスの運 行、市民団体等の活動との連携 |
| 3-5 交通事業者との連携 | 名鉄バス、あおい交通、小牧タクシー、 名鉄西部交通、小牧市 | 実施中 | 拡大検討·実施 | | | | | 【実施中】イベントでの車両展示等の啓発 活動、バスやタクシーの乗り方教室 |
| 3-6 未利用者へのPR | 小牧市 | _ | 検討·実施 | | | | | |
| 3-7 鉄道駅のバリアフリー化 | 名古屋鉄道 | 実施中 | 継続実施 | | | | | 【小牧口駅】平成30年度整備予定 |
| 3-8 駅前広場及び自転車等駐車場の整備 | 小牧市 | 実施中 | 継続実施 | | | | | 【小牧口駅】平成31年度整備予定 |
| 3-9 交通系 I Cカード利用環境の整備 | 名古屋鉄道、名鉄バス、あおい交通、 小牧市 | 実施中 | 拡大検討·実施 | | | | | 【整備済】名鉄小牧線、名鉄バス路線バス |
| 3-10 観光振興にかかるPR | 小牧市 | _ | 検討·実施 | | | | | |
| 3-1 1 観光施設との連携 | 小牧市 | | 検討·実施 | | | | | |

〈施策4〉持続可能な交通サービスの提供

| 実施する事業 | 実施主体 | 事業スケジュール | | | | | | |
|-----------------------------------|--|----------|---------|--------|--------|--------|--------|--------------------|
| | | 現況 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 | 備考 |
| 4-1 | 九十日外学 九州之中 七小八大军 | | | | | | | |
| 公共交通ネットワークの見直しの仕組みに 基づく対応策等の実施 | 名古屋鉄道、名鉄バス、あおい交通、 小牧タクシー、名鉄西部交通、小牧市 | _ | 実施 | | | | | |
| | 名古屋鉄道、名鉄バス、あおい交通、 | | | | | | | |
| | 小牧タクシー、名鉄西部交通、小牧市 | _ | 検討·実施 | | | | | |
| 4-3 こまき巡回バスの収入源の確保 | 小牧市 | | | | | | | 【実施中】バスの車体広告、バス停広告 |
| | | 実施中 | 拡大検討·実施 | | | | | |